



各 位

平成21年4月28日

会社名 株式会社日本航空  
 代表者名 代表取締役社長 西松 遙  
 コード番号 9205 (東証・大証・名証 第1部)  
 問合せ先 IR部長 日岡 裕之  
 電話番号 (03) 5460-6600

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年3月期第3四半期決算発表時(平成21年2月6日)に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

業績予想の修正

(1) 平成21年3月期 通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

|                         | 売上高       | 営業利益     | 経常利益     | 当期純利益    | 1株あたり<br>当期純利益 |
|-------------------------|-----------|----------|----------|----------|----------------|
| 前回発表予想(A)               | 1,977,000 | △ 37,000 | △ 63,000 | △ 34,000 | △14.77円        |
| 今回発表予想(B)               | 1,950,000 | △ 51,000 | △ 82,000 | △ 63,000 | △25.39円        |
| 増減額(B-A)                | △ 27,000  | △ 14,000 | △ 19,000 | △ 29,000 | -              |
| 増減率(%)                  | △ 1.4     | -        | -        | -        | -              |
| (ご参考)前期実績<br>(平成20年3月期) | 2,230,416 | 90,013   | 69,817   | 16,921   | 6.20円          |

(2) 業績予想修正の理由

国際旅客においては、燃油サーチャージの値下げや円高効果を背景に、想定を上回る観光需要の伸びがあったものの、ビジネス需要が企業の出張抑制等の要因で減少し、また、海外発需要が円高等により減少したほか、単価も需要構成の変化により低下したことから、収入は想定を下回りました。比較的堅調であった国内旅客においても、景気減速等から個人旅客を中心に単価が低下したほか、団体旅客需要も年明け以降は前年を下回って推移したことから、収入は想定を下回りました。また、国際貨物収入も輸出入の大幅減少を受けて想定を下回って推移しました。この結果、当社の平成21年3月期の売上高は、第3四半期決算発表時(平成21年2月6日)における想定値をさらに下回る見通しです。

営業費用については、聖域なきコスト削減の継続的取り組みに加え、コスト構造改革の一部前倒し実施や追加的な緊急収支改善施策による費用削減効果もあり、第3四半期決算発表時の想定を下回りました。

営業外損益、特別損益については、市況の悪化に伴う株式評価損等の計上や資産売却の一部取り止め等から悪化する見通しです。

以上の結果、第3四半期決算発表時の業績予想に比べ営業利益は140億円悪化の△510億円、経常利益は同190億円悪化の△820億円となる見込みです。また、連結当期純利益は同290億円悪化の△630億円となる見込みです。

なお、今般の通期業績見通しの修正に際しましては、米ドル為替レートを通期100.4円、航空燃料価格(シンガポール・ケロシン)を1バレル当たり通期112.7米ドルとしております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、これらには様々のリスク及び不確実性が内在しています。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらすことをご承知おき下さい。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、燃油費の高騰、為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

以 上